

<金標準、高値更新も為替次第の円建て金標準先物・・・>



(出所：オアシス)

トランプ大統領は、カナダのオンタリオ州が米国のミネソタ、ミシガン、ニューヨーク 3州向けの電力価格を 25%引き上げた事に対して、カナダの鉄鋼やアルミニウムに対する関税を 50%へ引き上げる発言するなど、関税に対する不確実性が高まりを見せている。ただトランプ大統領は翌日に鉄鋼、アルミニウムに対する関税 25%を発動している。

またマッコーリーグループのアナリストによると、安全資産としての魅力が急増している NY 金は、第 3 四半期中に過去最高値の 1 オンス=3500 ドルまで急騰する可能性があると発表し、地政学とドナルド・トランプ大統領の関税政策をめぐる不確実性によって、金現物は今年 12%上昇を示すなど強気の見方を示している。しかし NY 金が 3000 ドルを付け、人民元や豪ドルにカナダドルなど市場最高値を更新しているが、ポンドやユーロ、円などは市場最高値を更新する事は出来ていない。特に金標準先物は、日銀や FRB の金融政策の違いなど円高の動きが強まっているだけに高値更新は戻り売りに注意が必要と思える。

<テクニカル>

金標準先物の日足の MACD では、MACD が上昇し、シグナルは下げ止まり、RCI では短期が上昇し、長期も切り上げている。特に日足が 10 日移動平均線や 40 日移動平均線から乖離しており、14000 円へ向けた戻りに注意したいと思える。

このレポートはお客様への情報提供を目的としています。情報に関しては正確を期するよう最善を尽くしておりますが、内容の正確性、信憑性に関し保証をするものではありません。利用にあたっては自己責任の下で行って下さい。売買の判断はお客様御自身で行って下さい。

○商品デリバティブ取引は最初に委託者証拠金等の預託が必要で、その額は商品によって異なりますが、最高額は1枚当たり通常取引 1,090,000 円(2025 年 3 月 17 日現在)です。また、委託者証拠金は相場変動や日数の経過により追加預託が必要になることがあり、その額は商品や相場の変動によって異なります。○商品デリバティブ取引は相場の変動によって損失が生ずることがあります。また、実際の取引金額は委託者証拠金の約 10 倍から 70 倍と著しく大きいため、損失額が預託している委託者証拠金の額を上回ることがあります。○商品デリバティブ取引は委託手数料がかかり、その額は商品によって異なりますが、最高額は 1 枚あたり往復 71,280 円(2025 年 3 月 17 日現在)です。手数料額は相場変動により増減する場合があります。

当社(商品先物取引業者)の企業情報は当社本・支店及び日本商品先物取引協会で開示しています。お取引についての御相談は、当社顧客サービス担当(東京)電話 03-5540-8423 (受付時間:平日 8:30~17:30)
証券・金融商品あっせん相談センター <https://www.finmac.or.jp> 日本商品先物取引協会相談センター
<https://www.nisshokyo.or.jp>